

関東運輸局管内における ローカル鉄道の現況について

令和7年10月10日
関東運輸局交通政策部

関東運輸局管内のローカル線のあり方検討状況①

千葉県



JR東日本 久留里線(久留里～上総亀山)

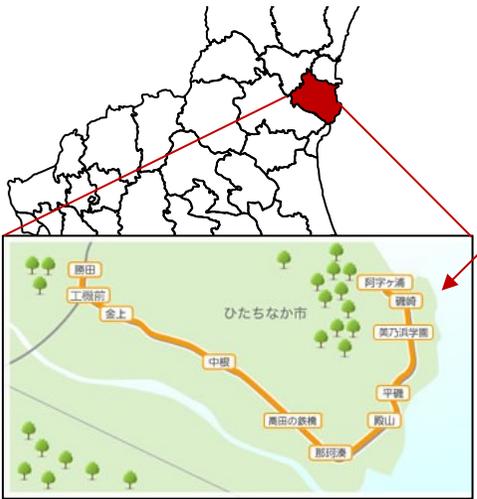
経緯

- 令和5年3月、JR千葉支社より千葉県・君津市に、久留里～上総亀山間の地域交通のあり方の議論を申入れ。
- 千葉県が「JR久留里線(久留里～上総亀山間)沿線地域交通検討会議」を設置。
- 令和5年～6年の間に検討会議を5回、住民説明会を3地域で実施。住民アンケートも実施し、結果報告会を3地域で実施。
- 令和6年10月に、自動車中心の交通体系への移行により、より利便性の高い地域公共交通が実現すると考えられるとした報告書をとりとまとめ。
- 令和6年11月、JR千葉支社より、バス等を中心とした新たな交通体系へのモードチェンジが必要との見解を報道発表。併せて上総地区への積極的な地域振興に努めることも発表。
- 令和7年1月の君津市地域公共交通会議でこれまでの経過を報告。同年6月の地域公共交通会議において代替バスルート案(1日13往復。現行の久留里線は8.5往復)を提示。7・8月に3地域で住民説明会を開催し意見交換を実施。

今後の予定

住民説明会での意見も踏まえ、地域公共交通会議において具体的な運行案を議論予定。

茨城県



いすみ鉄道 ※復旧に向けた検討

- 令和6年10月に軌間拡大により脱線事故。現在も復旧工事中。
- 令和7年6月にいすみ鉄道(株)が発表した内容では、東側(大多喜～大原)の運転再開予定は令和9年秋頃、復旧費用は14.5億円程度。復旧費用は県、関係市町が負担することとなるほか、鉄道施設総合安全対策事業の活用を要望。
- 西側(上総中野～大多喜)は現在調査中。

ひたちなか海浜鉄道 湊線(勝田～阿字ヶ浦～新駅1～新駅2)

再構築調査事業

経緯・今後の予定

- 沿線人口減少に伴う存続リスクに備え、みなし上下分離により更なる経営効率化やサービス向上を図るほか、併せて国営ひたち海浜公園近辺までの延伸を行うことによって新たな需要を取り込むことにより、利用者増・経営改善を図ることを目指し、鉄道再構築事業を活用する方針。
- 延伸事業については、建設費の高騰を受け令和6年3月に新駅1の場所の変更により事業基本計画を変更し、令和6年11月に、先に、阿字ヶ浦～新駅1までの工事施行認可を取得。
- 令和7年10月、ひたちなか市公共交通活性化協議会にて地域公共交通計画の変更、鉄道事業再構築実施計画を協議・承認。(今後申請見込み)

群馬県・栃木県



JR東日本 吾妻線（長野原草津口～大前）

再構築調査事業

経緯

- 令和6年3月、JR高崎支社より群馬県・長野原町・嬬恋村に、長野原草津口～大前間の地域交通のあり方の議論を申入れ。
- 当該地域にとってより利便性の高い交通のあり方について検討するため、**JR高崎支社が事務局**となり「JR吾妻線（長野原草津口・大前間）沿線地域交通検討会議」を設置。**当該区間は学生定期利用が8割を占めることから、まずは学生にとってより負担の少ない移動手段を検討。**高校生・家族を対象にしたアンケートの結果から、具体案として、遠距離通学者（高崎市内等）に対する新たな交通、家族の送迎負担の軽減策が検討対象に挙げられた。
- 令和7年度は、**軽井沢駅までの自動車送迎と軽井沢駅からの新幹線利用を組み合わせた通学の実証事業を実施。**

今後の予定

今後、下校時の長野原草津口駅からの送迎についても実施予定。

上信電鉄 上信線（高崎～下仁田） 上毛電気鉄道 上毛線（中央前橋～西桐生） わたらせ渓谷鐵道 わたらせ渓谷線（桐生～間藤）

再構築調査事業

経緯

- 令和4年度、群馬県が「群馬県地域鉄道のあり方検討会」を設置し、**令和5年3月に、モード転換等含め議論を尽くし、再構築に向けた取組を実施すべきとした提言**をとりまとめ。
- 令和5年度は、提言を受け、各沿線ごとに設置した「沿線地域交通リ・デザイン推進協議会」を3回開催し、鉄道沿線地域の状況や経営状況分析等、**基礎データを整理。**
- 令和6年度は、基礎データを踏まえた検討等を行い、「**今後の基本方針**」（3社とも**鉄道は全線存続等**）を決定。
- 令和7年度は、「**今後の基本方針**」に基づく**具体策を検討。**

今後の予定

来年度以降、地域公共交通計画・特定事業実施計画の策定を予定。